

海外SFアンソロジー作品リスト

『2000年代海外SF傑作選』(橋本輝幸編/ハヤカワ文庫SF/2020年11月)

- 「ミセス・ゼノンのパラドックス」 エレン・クレイジャス 著
「懐かしき主人の声」 ハンヌ・ライアニエミ 著
「第二人称現在形」 ダリル・グレゴリイ 著
「地火」 劉 慈欣
「シスアドが世界を支配するとき」 コリイ・ドクトロウ 著
「コールダー・ウォー」 チュールズ・ストロス 著
「可能性はゼロじゃない」 N・K・ジェミシン 著
「暗黒整数」 グレグ・イーガン 著
「ジーマ・ブルー」 アリステア・レナルズ 著

『80年代SF傑作選(上)』(小川隆、山岸真編/ハヤカワ文庫SF/1992年10月)

- 「ニュー・ローズ・ホテル」 ウィリアム・ギブスン著
「スキッツイスター」 ポール・ディ＝フィリポ著
「石の卵」 キム・スタンリー・ロビンソン著
「わが愛しき娘たちよ」 コニー・ウィリス著
「ブラインド・シェミイ」 ジャック・ダン著
「北斎の富嶽二十四景」 ロジャー・ゼラズニイ著
「みっともないニワトリ」 ハワード・ウォルドロップ著
「竜のグリオールに絵を描いた男」 ルーシャス・シェパード著
「マース・ホテルから生中継で」 アレン・M・スティール著
「シュレーディンガーの子猫」 ジョージ・アレック・エフィンジャー著
「回想のサイバーパンク」 エレン・ダトロワ著

『80年代SF傑作選(下)』(小川隆、山岸真編/ハヤカワ文庫SF/1992年10月)

- 「胎動」 マイクル・ビショップ著
「祈り」 ジョアンナ・ラス著
「間諜」 ブルース・スターリング著
「確率パイプライン」 ルーディ・ラッカー&マーク・レイドロー著
「ペーパー・ドラゴン」 ジェイムズ・P・プレイロック著
「血をわけた子供」 オクティヴィア・バトラー著
「ぼくがハリーズ・バーガー・ショップをやめたいきさつ」 ローレンス・ワット＝エヴァンズ著
「塵戦」 グレグ・ベア著
「帝国の夢—地上管制室よりトム少佐へ—」 イアン・マクドナルド著
「私的80年代SF論」 オースン・スコット・カード著

『90年代SF傑作選（上）』（山岸真編／ハヤカワ文庫SF／2002年3月）

- 「サモリオンとジェリービーンズ」 ニール・ステイヴンソン 著
「コロンビヤード」 スティーヴン・バクスター 著
「エウロパのスパイ」 アレステア・レナルズ 著
「フラッシュバック」 ダン・シモンズ 著
「魂はみずからの社会を選ぶ」 コニー・ウィリス 著
「バーナス鉱山全景図」 ショーン・ウィリアムズ 著
「オールドヴァイ峡谷七景」 マイク・レズニック 著
「永遠に、とアヒルはいった」 ジョナサン・レセム 著
「わが家のサッカーボール」 イアン・R・マクラウド 著
「存在の系譜」 デイヴィッド・ブリン 著
「羊飼いの衛星」 アレン・スティール 著
「80年代サイバーパンク終結宣言」 ブルース・スターリング 著

『90年代SF傑作選（下）』（山岸真編／ハヤカワ文庫SF）

- 「マックたち」 テリー・ビッスン 著
「ホームズ、最後の事件ふたたび」 ロバート・J・ソウヤー 著
「理解」 テッド・チャン 著
「誕生日」 エスター・M・フリーズナー 著
「フローティング・ドッグズ」 イアン・マクドナルド 著
「標準ローソク」 ジャック・マクデヴィット 著
「人間の血液に蠢く蛇」 ジェイムズ・アラン・ガードナー 著
「ルミナス」 グレグ・イーガン 著
「棺」 ロバート・リード 著
「ダンシング・オン・エア」 ナンシー・クレス 著

『20世紀SF① 1940年代 星ねずみ』（中村融、山岸真／河出文庫／2000年11月）

- 「星ねずみ」 フレドリック・ブラウン 著
「時の矢」 アーサー・C・クラーク 著
「AL76号失踪す」 アイザック・アシモフ 著
「万華鏡」 レイ・ブラッドベリ 著
「鎮魂歌」 ロバート・A・ハインライン 著
「美女ありき」 C・L・ムーア 著
「生きている家」 ウィリアム・テン 著
「消されし時を求めて」 A・E・ヴァン・ヴォート 著
「ベムがいっぱい」 エドモンド・ハミルトン 著
「昨日は月曜日だった」 シオドア・スタージョン 著
「現実創造」 チャールズ・L・ハーネス 著

『20世紀SF② 1950年代 初めの終わり』（中村融、山岸真編／河出文庫／2000年12月）

- 「初めの終わり」 レイ・ブラッドベリ 著
「ひる」 ロバート・シェクリイ 著
「父さんもどき」 フィリップ・K・ディック 著
「終わりの日」 リチャード・マシスン 著
「なんでも箱」 ゼナ・ヘンダースン 著
「隣人」 クリフォード・D・シマック 著
「幻影の街」 フレデリック・ポール 著
「真夜中の祭壇」 C・M・コーンブルース 著
「証言」 エリック・フランク・ラッセル 著
「消失トリック」 アルフレッド・ベスター 著
「芸術作品」 ジェイムズ・ブリッシュ 著
「燃える脳」 コードウェイナー・スミス 著
「たとえ世界を失っても」 シオドア・スタージョン 著
「サム・ホール」 ポール・アンダースン 著

『20世紀SF③ 1960年代 砂の檻』（中村融、山岸真編／河出文庫／2001年2月）

- 「復讐の女神」 ロジャー・ゼラズニイ 著
「「悔い改めよ、ハーレクイン！」とチクタクマンはいった」 ハーラン・エリスン 著
「コロナ」 サミュエル・R・ディレイニー 著
「メールシュトレーム2」 アーサー・C・クラーク 著
「砂の檻」 J・G・バラード 著
「やっぱりきみは最高だ」 ケイト・ウィルヘルム 著
「町かどの穴」 R・A・ラファティ 著
「リスの檻」 トーマス・M・ディッシュ 著
「イルカの流儀」 ゴードン・R・ディクスン 著
「銀河の〈核〉へ」 ラライ・ニーヴン 著
「太陽踊り」 ロバート・シルヴァーバーグ 著
「何時からおいでで」 ダニー・プラクタ 著
「讚美歌百番」 ブライアン・W・オールデイス 著
「月の蛾」 ジャック・ヴァンス 著

『20世紀SF④ 1970年代 接続された女』(中村融、山岸真編／河出文庫／2001年5月)

- 「接続された女」 ジェイムズ・ティプトリー・ジュニア 著
「デス博士の島その他の物語」 ジーン・ウルフ 著
「変革のとき」 ジョアンナ・ラス 著
「アカシア種子文書の著者をめぐる考察ほか、『動物言語学会誌』からの抜粋」 アーシュラ・K・ル・グイン著
「逆行の夏」 ジョン・ヴァーリイ 著
「情けを分かち者たちの館」 マイクル・ビショップ 著
「限りなき夏」 クリストファー・プリースト 著
「洞察鏡奇譚」 バリントン・J・ベイリー 著
「空」 R・A・ラファティ 著
「あの飛行船をつかまえろ」 フリッツ・ライバー 著
「七たび戒めん人を殺めるなかれと」 ジョージ・R・R・マーティン 著

『20世紀SF⑤ 1980年代 冬のマーケット』(中村融、山岸真編／河出文庫／2001年7月)

- 「冬のマーケット」 ウィリアム・ギブスン著
「肥育園」 オースン・スコット・カード著
「姉妹たち」 グレグ・ベア著
「美と崇高」 ブルース・スターリング著
「宇宙の恍惚」 ルーディ・ラッカー著
「世界の広さ」 イアン・ワトスン著
「リアルト・ホテルで」 コニー・ウィリス著
「征たれざる国」 ジェフ・ライマン著
「調停者」 ガードナー・ドゾワ著
「系統発生」 ポール・ディ・フィリポ著
「やさしき誘惑」 マーク・ステイグラー著
「ハウレンソウの最期」 スタン・ドライヤー著

『20世紀SF⑥ 1990年代 遺伝子戦争』(中村融、山岸真編／河出文庫／2001年9月)

- 「軍用機」 スティーヴン・バクスター 著
「爬虫類のごとく……」 ロバート・J・ソウヤー 著
「マジンラ世紀末最終大決戦」 アレン・スティール 著
「進化」 ナンシー・クレス
「日の下を歩いて」 ジェフリー・A・ランディス 著
「しあわせの理由」 グレグ・イーガン 著
「真夜中をダウンロード」 ウィリアム・ブラウニング・スペンサー 著
「平ら山を越えて」 テリー・ビッスン 著
「ケンタウルスの死」 ダン・シモンズ 著
「キリマンジャロへ」 イアン・マクドナルド 著
「遺伝子戦争」 ポール・J・マコーリイ 著